

理事長年頭のご挨拶

理事長 平岩 晃一

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方におかれましては、ご家族やお仲間と和やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私も昨年5月の理事長就任後、初の新年を迎えました。今日まで変わらず愛知県自動車車体整備協同組合をご支援いただいておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。



昨年は、各国で様々な社会的・政治的な出来事が起こった年でもありました。コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増している状況ですが、昨年11月に公表された月例経済報告には、30年ぶりの高い賃上げ率が示され消費回復の追い風となる明るい兆しも見えてきています。

一方自動車業界は、自動車の電子化や自動運転など、技術革新が進みこれまでにない大きな変革期に直面しています。OBD検査や自動車検査証の電子化など、新たな制度への対応やICT化の推進は、自動車整備業界にとって大きなチャンスであり、同時に大きな課題でもあります。

これらの制度は、自動車整備業界の業務効率化やサービス向上に寄与するとともに、自動車ユーザーの利便性や満足度の向上にもつながります。

しかし、これらの制度に対応するためには、自動車整備業界の経営や技術の高度化が不可欠であり、新しい技術に対応するために常に新しい情報を収集するとともに、高品質なサービスやビジネスモデルを創出する必要があります。

組合員の技術の向上と信頼を確立させることは組織にとって重要な要素です。

愛車協といたしましても、組合員のモチベーションの向上に繋がるよう、車体整備士のスキルアップや資格取得を支援するために、様々な研修や講習会を開催してまいります。

また、特定整備認証制度は、本年3月で猶予期間を終えますが、組合員の電子制御装置整備認証は、約81%（106社）が取得しました。

車体整備業界として電子制御装置整備の対応が必要不可欠であり、引き続き全組合員が電子制御装置整備認証を取得できるよう全力でサポートしてまいります。

8年目となります日車協連の「高度化車体整備技能講習」及び「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」の自主認定制度については、安心・安全な車体整備を提供する事業所として、自動車ユーザーおよびステークホルダーからの信頼をより一層高め、その技術や設備環境のクオリティーの高さをアピールしてまいります。

最後になりますが、組合員の皆様方には引き続きのご支援をお願い申し上げ、自動車車体整備業界に生きるすべての人々が明るく元気にこの一年を過ごせますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。